

参考資料

新見市観光事業審議会 協議資料

～ 新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた新見市観光事業 ～

令和3年3月26日

新見市観光事業審議会

観光事業審議会

15人

観光事業協議会

1回開催

全体会

15人

①北部会

②北西部会

③南西部会

④中央部会

⑤北東部会

⑥南東部会

2回開催

各部会

24人 (4人×6部会)

部会構成メンバー (案)

千屋野の里
新見千屋温泉
黒田商事
別所アウトドア
いぶきの里スキー場
別所フィッシング

高瀬振興会
神郷温泉
三室観光組合
三国窯
移住支援センター

妹尾観光
道の駅鯉が窪
紙の館・水車
阿新中央観光
t e t t a

御殿町まち歩きの会
新見美術館
新見駅
観光案内所
新見庄ロマンの里
新見公立大学

ネイチャークラブ
源流公園を守る会
アーリーモーニング
大佐観光
山田方谷記念館
まんさく園

満奇運営協議会
井倉洞
羅生門を守る会
草間台エコ
フルーツカントリー
大原観光果樹園

エリア別の観光誘客数

エリア	誘客数	主要施設名	公表誘客数	主要施設誘客数	備考
北	13万3,000人	○新見千屋温泉	80	80	
		○いぶきの里スキー場	16	16	
		○別所アウトドア	2	2	
		花見養魚センター		30	
北西	3万5,000人	○神郷温泉	28	28	
		三室峡		7	
南西	13万4,000人	○紙の館・親子孫水車	18	18	
		○鯉が窪湿原	6	6	
		○干子	0		主要20施設の集計から除外
		道の駅鯉が窪		59	
中央	20万6,000人	あしん広場		168	
		新見美術館		24	
		観光案内所		10	
		御殿町・太池邸		4	太池邸のみ集計
北東	2万9,000人	○大佐山オートキャンプ場	14	14	
		○おおさ源流公園	6	6	
		○風の湯温泉	3		主要20施設の集計から除外
		まんさく園		3	
南東	13万2,000人	○満奇洞	51	51	
		○井倉洞	49	49	
		大原観光果樹園		20	
		羅生門		0	
計	66万9,000人	○は主要10施設(大佐は合算)	273千人	595千人	

アクセス幹線道を基準とした観光ゾーニング



行動

主要10施設の入込客数約27万3千人、主要20施設の入込客数約59万5千人。

2024年度に主要20施設で入込客数70万人(10万5千人・17.6%増)を目指す。

入込客数の目標を達成するため、本市が抱える観光課題の克服に向けて策定した「第3次新見市総合計画」に掲げる4つの主要な施策・取組と「新見市観光アクションプランに掲げる」22のアクション(行動)に取り組む。

取組にあたり、新たに、観光事業協議会(全体会)を設置し、市域全体の具体的なアクションについて協議する。

観光事業協議会に、本市観光事業の現状と課題を把握するために設定したエリアごとに6つの部会を設け、それぞれのエリアで必要なアクションの実現に取り組む。

部会では、意見交換、入込客数(17.6%)増に向けて、観光施設ごとに誘客の取組を研究し、エリア内の観光資源の掘り起こしのほか、エリア内各施設との連携、市内の他エリアとの連携のほか、近隣の市町村(高梁市、真庭市、新庄村、鳥取県日野町・日南町、広島県庄原市・神石高原町)との連携を検討する。

北エリア

132,969人

180 国道180号

金持神社

滝山公園

花見養魚センター 30,000人

いぶきの里スキー場 16,417人

新見千屋温泉 79,284人

たたらの森オートキャンプ場 940人

剣山

ふゆさと 4,382人

牡丹園

七曲がり

鳴滝

別所アウトドアスポーツセンター

1,946人

千屋ダム・千水湖



行動

エリアの入込客数約13万3千人。

神郷温泉(新見千屋温泉から35分)、別所アウトドア(同20分)、花見養魚センターとの連携を研究する。

金持神社(同20分)、滝山公園(同20分)との連携を検討する。

森林を活用したアスレチック、ジップライン、遊歩道などの整備や山の幸(山菜、キノコ、アマゴ、ジビエなど)を使った料理など、子どもや家族連れが楽しめる体験型コンテンツについて研究する。剣山、高梁川源流、牡丹園、ふゆさと、千屋牛、ワサビ、鳴滝、七曲がり、千屋ダム、赤坂城跡、楳城跡などの活用を研究する。

①新見千屋温泉いぶきの里

山陰地方からの誘客を図る。市内最大の入込客を市内の他施設に波及する仕組みを研究する。

山陰地方からの誘客を図る。市内最大の入込客を市内の他施設に波及する仕組みを研究する。

②いぶきの里スキー場

する。

グリーンシーズンの有効活用(グラススキー・ソリなど)を研究する。

③別所アウトドアスポーツセンター

千屋ダム、別所川を活用した取組を研究し、例えば、サイクリング、カヌー、溪流釣りなどの体験型コンテンツや手ぶらでバーベキューが楽しめるメニューなどを充実し、4年後に入込客を2倍、9年後に3倍の6千人とする。

北西エリア

34,432人

8 新見日南線

11 新見多里線

12 足立東城線

鳥取にちなんむらモクモクキャンプ

道の駅にちなん日野川の郷

神郷温泉 27,508人

高瀬湖畔オートキャンプ場
302人

三国窯

三室森の学校 122人

三室峡・三室総合案内所
6,500人



足立石灰

行動

エリアの入込客数約3万5千人。

新見千屋温泉(神郷温泉から35分)、花見養魚センター(同35分)、別所アウトドア(同25分)との連携を研究する。

鳥取にちなんむらモクモクキャンプ(同15分)、道の駅にちなん日野川の郷(同20分)、福万来ホテル乃国(同30分)ホテル観賞ツアー、日野町の金持神社(同35分)を絡めた日南町の福福(福成、福榮、樂樂福、大石見)神社をめぐるツアー(フクフクめぐり)などとの連携を検討する。

三室森の学校、三国窯、あまご養殖場、三室川ダム、氷室とうふ、長久牧場、トマト、健康王国などの活用を研究する。

①グリーンミュージアム神郷温泉 芝生化したグラウンドを活用する。アウトドアブームに乗り入込客増を図る。神の郷として日野町や日南町の神社との連携を研究する。

②三室峡・三室総合案内所

春のしゃくなげまつり、秋の紅葉まつりを継続する。イベント以外での活用を研究する。

③神郷第一スキー場 センターハウス(レストハウス、ロッジ)の今後について研究する。ゲレンデは当面放牧場として活用する。新たな投資を行わない。

南西エリア

133,872人

182 国道182号

33 新見川上線

441 下神代哲多線

レストランしんごう 9,245人

干子農村リゾート 185人

紙の館・親子孫水車 17,807人

道の駅鯉が窪 58,469人

鯉が窪湿原 6,160人

牧水二本松公園 300人

帝釈峡

荒戸山

天王八幡神社・金ボタル

吹屋ふるさと村

祥華 41,630人

久保井野キャンプ場 76人

すずらんの園

domaine tetta



行動

エリアの入込客数約13万4千人。

道の駅鯉が窪と紙の館・親子孫水車(道の駅鯉が窪から15分)の連携を研究する。

吹屋ふるさと村(親子孫水車から30分)、帝釈峡観光協会(道の駅鯉が窪から20分)との連携を検討する。

矢神駅(御衣黄桜)、矢田石仏、太鼓田植、三光正宗、ペンションノア、イノシシ肉、レストランしんごう、バイオマス発電所、荒戸山、荒戸神社、哲多和牛牧場、リンドウ、荒戸山ワイナリー、天王八幡神社、祥華、すずらんの園(おもつぼ湿原)、健康の森、domaine tetta、クニファーム、野田山遺跡、山室軍平、備中神楽、備中漆などの活用を研究する。

①道の駅鯉が窪

道の駅の人気が続く中で、地元の野菜やコメといった産直コーナーなど内容の充実を図り入込客増につなげる。

②鯉が窪湿原 花が咲く5月から10月にしっかり情報発信し入込客増を図る。有料ガイドの育成を検討する。

③干子農村リゾート

地域団体などと今後について協議する。

行動

④牧水二本松公園

春の野点、秋の歌碑祭などのイベントを継続する。熊谷屋の活用を研究する。

⑤紙の館・親子孫水車

食堂のリニューアルオープンを契機に、マルシェなどの定期的なイベントの開催や紙すき体験の魅力発信を強化し入込客増を図る。

⑥久保井野キャンプ場

地域団体などと今後について協議する。

中央エリア

205,788人

180 国道180号

32 新見勝山線



まんさく運動公園

さーちゃんミニヤギ牧場 500人

新見公立大学

新見

観光案内所 9,865人

新見美術館 23,423人

城山公園

まなび広場にいみ

青龍寺

船川八幡宮

御殿町 4,000人

あしん広場特産館 168,000人

あしん広場グリーンセンター

20,000人

焼肉千屋牛 60,000人

ピオーネ球場

防災公園

行動

エリアの入込客数約20万6千人。

あしん広場特産館(入込客数17万人)、新見駅、市域周辺観光施設との連携を研究する。
吹屋ふるさと村(新見駅から30分)との連携を検討する。

さーちゃんミニヤギ牧場、甌穴、城山公園、三日市ケレップ、まなび広場にいみ、まなびの森にいみ図書館、ピオーネ球場、防災公園、まんさく運動公園、城山公園、青龍寺、船川八幡宮、石灰採掘場、備中白小豆などの活用を研究する。

①新見美術館

新見駅周辺まちづくりの核として魅力的な展覧会を継続するなどし、入込客増を図る。

②御殿町

まち歩きガイドの会の知識・経験を継承する。備中町並みネットワークと連携する。太池邸(Trattoria Arca)、松葉、津国屋などの町家、御殿町センター、にいみ雛まつり、土下座まつり、ベッキオバンビーノを有効に活用し入込客増を図る。駐車場の整備、お金を使ってもらう仕組みを研究する。

③観光案内所

土産物の充実と土産物販売所の周知など自主財源を確保しながら、観光振興に取り組む中心組織として強化を図る。

行動

④新見駅 新見の玄関口、新見駅周辺まちづくりの核として、連携して情報発信を行うことにより、市全体の入込客増につなげる。また、新たな駅のシンボルについて研究する。

⑤新見公立大学 新見市唯一の高等教育機関である同大学と連携し、観光地域づくりを研究するとともに、大学生の情報発信力を活用する。

⑥新見庄関連史跡

1990(平成2)年ボーイスカウト新見第一団がたまがき書状の返書を東寺から新見市へ伝達。1991年新見庄まつり開催。1993年中世たたら製鉄再現操業開始。1997年たまがき書状(東寺百合文書)が国宝に指定。史跡の価値・ストーリーを整理し、歴史を活かしたまちづくりを観光事業に発展させることを研究する。

北東エリア

28,640人

32 新見勝山線

58 北房川上線

112 大佐日野線



大井野源流体験村 58人

雄山・雌山

赤松溪谷

御洞溪谷

夏日の極上水

まんさく園 3,000人

大佐サービスエリア

岩山駅

道の駅がいせん桜新庄宿

おおさ源流公園 6,115人

大佐山

大佐山オートキャンプ場
13,497人

大佐風の湯温泉 3,125人

アーリーモーニング
1,500人

方谷庵・山田方谷記念館
1,345人

醍醐桜

勝山町並み保存地区

行動

エリアの入込客数約2万9千人。

まんさく園、アーリーモーニングと連携する。

道の駅がいせん桜新庄宿(大日高原から35分)、勝山町並み保存地区(同30分)、醍醐桜(同35分)との連携を検討する。

大佐神社、方谷庵、大井野源流体験村、雄山雌山、赤松溪谷、御洞溪谷、夏日の極上水、大佐サービスエリア、岩山駅(鬱金桜)、ヒスイ輝石、大佐茶などの活用を研究する。

①大佐山オートキャンプ場 指定管理者は、シャワートレッキング、洞窟探検、カヌー体験などの体験型コンテンツを提供しており、他エリアの見本とする。トレーラーハウス3棟を整備し、アウトドアブームに乗って入込客を伸ばす。

②おおさ源流公園

大佐山オートキャンプ場と連携し入込客を伸ばす。

③大佐風の湯温泉

7月、8月、9月のみ営業。現状維持。

④山田方谷記念館

高梁川流域連携中枢都市圏事業などと連携し入込客を伸ばす。

南東エリア

131,383人

180 国道180号

50 北房井倉哲西線

78 長屋賀陽線



三尾寺

ピオーネ交流館

備北ハイランドサーキット

満奇洞 50,693人

草間の間歇冷泉

羅生門・さくら公園

大原観光果樹園 20,000人

草間自然休養村 544人

田舎屋 8,892人

井倉洞 49,052人

絹掛の滝

MSファーム 428人

石灰採掘場

フルーツカントリー熊野 600人

猪風来美術館 1,174人

行動

エリアの入込客数約13万2千人。

大原観光果樹園、MSファームと連携する。

真庭市北房地域の観光施設(満奇洞まで15分、井倉洞まで35分)との連携を検討する。

絹掛の滝、田舎屋、カルスト山荘、ピオーネ、蕎麦、大根、モモ、ナシ、リンゴ、柴かき、茅刈り、草間の間歇冷泉、三尾寺、ピオーネ交流館、宇山洞、日咩坂鐘乳穴、バクダンキャンディー、備北ハイランドサーキット、備中神楽、済渡寺(あじさい)、法曾茶、フルーツカントリー熊野、石灰採掘場、SL(D51)などの活用を研究する。

①満奇洞 黒字施設。閑散期の12月から2月に有効なイベントを開催し入込客増を図る。

②井倉洞 黒字施設。洞前の浸水対策を実施し、大規模浸水災害からの復興を目指す。

③羅生門・さくら公園 観光庁の誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成実証事業で蓄積した知識・経験を活かして、滞在型コンテンツの造成と有料観光ガイドの実践に取り組み、入込客増につなげる。

④猪風来美術館

春・秋の縄文野焼き祭を継続するなどし、入込客増を目指す。